

地域で咲かせたひまわり
～下水汚泥肥料を活用した資源循環の取組～

鹿児島市水道局が製造する下水汚泥肥料の活用事例として、市内で行われたひまわり栽培の様子をご紹介します。今回の栽培は、市内のまちづくり協議会が主体となって行われたもので、下水汚泥肥料を活用しながら、地域の景観づくりに取り組まれました。

栽培期間中には、圃場一面に鮮やかな黄色の花が咲き、訪れた人々の目を楽しませました。現在は栽培期間を終えています、圃場整備から開花までの様子を写真でご紹介します。

■圃場の整備

写真－１ 圃場整備前の様子



写真－２ 圃場整備の様子



ひまわり栽培に先立ち、まちづくり協議会のメンバーが圃場の整備を行いました。

■播種

写真－３ 播種の様子（１）



写真－４ 播種の様子（２）



圃場整備後、下水汚泥肥料を施用した圃場にひまわりの種を播種しました。開花を楽しみにしながら、一粒ずつ丁寧に種をまきました。

■生育状況（初期生育）

写真一 5 初期生育の様子（1）



写真一 6 初期生育の様子（2）



播種後は順調に発芽し、その後も健全な生育が続きました。青々とした葉が広がり、順調な生育の様子が見られました。

■開花前の様子

写真一 7 開花前の様子（全景）



写真一 8 開花前の様子（蕾の計測）



生育が進むにつれて大きな蕾が形成され、開花を目前に控えたひまわりが圃場一面に広がりました。

■開花

写真一 9 開花の様子（全景）



写真一 10 開花の様子（近景）



見頃を迎えたひまわりは、圃場を鮮やかな黄色に彩りました。夏の日差しを浴びて咲き誇るひまわりの姿は、多くの人の目を楽しませ、地域に彩りを添えました。

おわりに

今回のひまわり栽培では、播種前に下水汚泥肥料を 10a 当たり 200kg 施用しました。

下水汚泥肥料は、花や農作物、景観作物など幅広い栽培用途で活用されており、地域の彩りづくりや資源循環の推進に役立てられています。

今後も下水汚泥資源の有効利用に関する取組や活用事例について情報発信を行ってまいります。